

「小中交流宿泊体験学習」

～教え学び合う人間関係づくり～

1 趣旨

小中交流宿泊体験におけるグループワーク等の体験活動や生活を通して、児童・生徒のコミュニケーション能力を育成し、中一ギャップの解消に貢献する。そのため、校区ごと募集し、教育委員会や現場の小中学校教員との連携を深め、青少年教育施設としての新たな面を探る。

2 ねらい

- ・児童・生徒が自分の意見をもってその意見を言う、相手の意見を聞く機会を多く体験させる。
- ・教育委員会や学校と打ち合わせの場をなるべく多く設け、円滑な運営につなげる。

3 日程

- (1) 期 日 第1回：平成23年11月8日（火）～9日（水）【1泊2日】
第2回：平成23年11月15日（火）～16日（水）【1泊2日】
- (2) 参加者 第1回：A中学1年生とその校区の小学6年生 81名 教員20名
第2回：B中学1年生とその校区の小学6年生 330名 教員32名

(3) 研修内容

1日目

- 14:00～14:20 入所式（講堂）
14:30～15:15 研修1：アイスブレイク（体育館）
15:30～16:45 研修2：エクササイズ「人間コピー機」（各研修室）
17:00～17:15 イブニングタイム（体育館）
19:30～20:30 研修3：エクササイズ「新聞紙タワー」（体育館・講堂）

2日目

- 7:00～7:15 フレッシュタイム（体育館）
9:00～10:30 研修4：エクササイズ「なぞの宝島」（各教室）
10:50～11:40 研修5：ミニ運動会（体育館）
11:50～13:10 昼食・アンケート記入
13:20～13:40 退所式（講堂）

○ エクササイズについて

研修に取り入れたエクササイズは、ラボラトリー方式の教材を取り入れた。児童生徒のコミュニケーション能力の育成のため、「積極的に話す」「相手の話を聞く」「自分の考えを持ち、相手に伝える」というねらいで設定した。

4 成果と課題

(1) 参加者の満足度結果から

- ・ 事業後の参加者対象のアンケートにおいて、全体を通しての満足度として「満足」・「やや満足」と回答した参加者は、第1回目が98%、第2回目が97%であった。自由記述では、ほとんどの生徒が「とても楽しく、仲良くできた。」と記していた。
- ・ 活動別の質問では、アイスブレイク97%、人間コピー機97%、新聞紙タワー96%、なぞの宝島94%、ミニ運動会が91%と、どの活動も高い満足度を得ていた。
- ・ 小学生は中学生と、中学生は小学生と仲よくなれたかという質問では、小中学生とも97%が「仲よくなれた」と感じていた。活動全体を通して協力することができたかという質問でも、全体の97%が「協力することができた。」と感じていた。

(2) 児童生徒の感想

[小学生]

- ・ 他の小学校や中学校の人たちと仲良くなれてよかった。最初は、初めて会う人たちもいたから緊張したけど、ちゃんと交流もでき、友達もたくさんできたからよかった。すごく楽しかった。

[中学生]

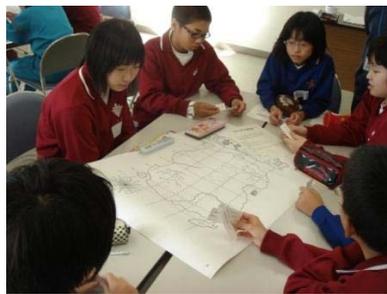
- ・ この活動を通して、自分をはじめ沢山の人が協力できたことを実感したと思います。僕は先輩という立場になるドキドキとワクワクが交差しています。本当にありがとうございました。

(3) 成果と課題

- ・ 第1回目・第2回目の両方で参加者から高い満足度が得られたことは本事業の成果と捉えられる。
- ・ 今年度は学校の先生方が各グループのエクササイズの指導に当たった。最初、先生方は不安な面もあったようだが、事前の打ち合わせやエクササイズの研修会を入念に行ったため、落ち着いて指導できていた。その結果、生徒も生き生きと活動することができ、非常に満足度の高い研修になった。先生方が指導したという点でも大きな成果となった。
- ・ スケジュールについての満足度が89%となり、昨年度の72%を大きく上回ったとはいえ、まだまだスケジュールについては見直す必要がある。



アイスブレイク



なぞの宝島



新聞紙タワー